赤と青のブルース（1960）

SAINT-TROPEZ BLEUS

メディア 映画
ジャンル 青春　ロマンス
製作国 フランス
色彩 Color
時間 94分
初公開日 1961/05/07
公開情報 映配

【解説】

南フランスの保養地サント・ロペを舞台に、前作「太陽がいっぱい」で人気者となったＭ・ラフォレがアンニュイな表情の中に現代っ子らしい所も見せ、とっても魅力的。しかし、Ｃ・シャブロルが脚本を担当したＭ・ムーシーの演出は、こういうのまで十把一絡げにヌーヴェル・ヴァーグって言われても（当時の批評はそうだった）困るんだよなァって感じのいい加減な即興で、親に内緒で男とヴァカンスにやってきたラフォレをめぐる恋のさや当てを、全くとりとめもなくフィルムに納めているだけ。ただ、彼女が弾き語りで唄うＪ・プレベール作詞の“タンブルウィーズ”というアメリカへの憧れもあらわなフォーク・バラッド風の曲と、その場面はフンイキであった。

【クレジット】

監督	マルセール・ムーシー	Marcel Moussy
脚本	クロード・シャブロル	Claude Chabrol
	マルセール・ムーシー	Marcel Moussy
撮影	ピエール・ロム	Pierre Lhomme
出演	マリー・ラフォレ	Marie Laforet
	ジャック・イジュラン	Jacques Higelin
	ピエール・ミカエル	Pierre Michael
	ステファーヌ・オードラン	Stephane Audran

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.